

令和５年度 住之江区区政会議

第１回愛しむ部会 会議録

１ 開催日時 令和５年５月２４日（水）１９時００分から２０時１０分まで

２ 開催場所 すみのえ舞昆ホール

３ 出席者

〔区政会議委員〕

伊東 聡子 委員、田貝 泉 委員、永松 知恵子 委員、長谷 克己 委員

藤井 秀雄 委員、山田 史郎 委員

（出席６人／定数８人）

〔住之江区役所〕

吉田 政幸 副区長

井平 伸二 協働まちづくり課長

吉岡 敏秀 ICT・企画担当課長

船本 幸男 生活支援課長

松本 勝也 保健福祉課長

福田 佳代子 保健担当課長

川井 圭史 協働まちづくり課長代理

峯上 和博 ICT・企画担当課長代理

戸井 正人 生活支援課長代理

合田 恵子 保健副主幹

音田 陽子 保健副主幹

大家 典子 保健福祉課長代理

4. 発言内容

○井平協働まちづくり課長

皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、令和5年度住之江区区政会議、第1回愛しむ部会を開催いたします。

本会議は、午後7時現在、全委員8名中、5名の委員のご出席をいただいておりますので、定足数である委員定数の2分の1以上を満たしていることをご報告いたします。（遅れて1名出席）

出席委員の皆様と住之江区役所の出席者の紹介につきましては、省かせていただきますので、お手元の配席図でご確認ください。

この会議は、個人情報などの非公開情報はございませんので、公開とさせていただきます。また、本日の傍聴者はおられません。

本日の資料と併せて、後日、議事録を公表し、議事録には発言者と発言内容を掲載いたします。また、本会議中の映像と音声の記録、及び広報用に写真撮影をさせていただきますのでご了承ください。

それでは、本日の資料の確認をお願いいたします。最初に「次第」。次に「愛しむ部会の委員名簿」、裏面が「区政会議全体の名簿」になっています。次に「配席図」、資料が「令和4年度住之江区運営方針振返り(案)について」、それと「区政会議」についてと書いたもの、裏面が「地域活動協議会」についてとなっています。それと、「令和4年度企業・NPO・学校・地域交流会 外出自粛応援&コロナ禍でもできるつながりコンテスト」と書いた資料が1枚、「すみのえ情報局 掲示板への投稿方法」を書いた資料が1枚、最後に、「住之江区役所の公式SNSの二次元コード」をまとめた資料をお手元に置かせていただいています。

資料は以上になります。不足等はありませんでしょうか。

本日の会議は、「令和4年度住之江区運営方針振返り(案)」についてご報告し、

今年度以降の各取組につなげていけるようご意見をいただきたいと思います。時間は、20時までの1時間を予定しております。スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

本日の議論の内容は、6月14日水曜日に開催予定の全体会で部会長からご報告いただき、情報共有を図ってまいりたいと考えております。

それでは早速になりますが、議事に移らせていただきます。議事進行につきましては、部会長にお願いしたいと存じます。

長谷部会長、どうぞよろしくお願いいたします。

○長谷部会長

皆さん、こんばんは。夕食時の一番お忙しい時間にお集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、部会の議事を進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、令和4年度住之江区運営方針振返りということで議論をいただきます。早速でございますが、事務局、井平課長よりご説明をお願いいたします。

○井平協働まちづくり課長

それでは、「令和4年度住之江区運営方針の振返り(案)」について、事務局より説明をさせていただきます。

この愛しむ部会では、経営課題2「すべての人が自分らしく暮らせるまちづくり」についてご報告し、ご意見をいただくことになります。資料には、この課題で目指す主なSDGsゴールを掲載しておりますので、参考にご覧ください。

各取組については、資料の5ページ以降に記載しておりますが、議論いただく時間を確保するために、資料2ページに概要を簡単にまとめていますので、そちらをご覧いただきながらポイントを絞って説明をさせていただきます。

それでは、資料の2ページをご覧ください。

まず 2-1、地域の活力と魅力の向上の各取組についてご説明いたします。

まず、具体的取組 2-1-1「多様な主体による地域の活気と魅力づくり」のための取組としまして、企業・NPO・学校・地域交流会等の開催、地域資源を活用した地域活動の支援を行いました。

地域ごとの課題解決のため、活発な活動が行えるようさらなる支援が必要であり、引き続きまちづくりセンターと連携し、企業・NPO・学校・地域交流会等の開催など、継続的な支援を行ってまいります。

なお、地域での活動をさらに活発なものとするための取組としまして、まちづくりセンター主催で「つながりづくりコンテスト」を開催しましたので、少し紹介させていただきます。別添の資料、令和4年度企業・NPO・学校・地域交流会 外出自粛応援&コロナ禍でもできるつながりづくりコンテストをご覧ください。

3月10日に舞昆ホールにおきまして、コロナ禍でもできるつながりづくりをテーマに、地域などでの取組についてコンテストを行いました。6団体からそれぞれ、まちづくり、健康、福祉などの多様な視点からのつながりづくりの取組について発表があり、参加された地域の皆さんも興味を持って見られていました。少しずつでも広がっていくことを期待し、引き続き取組を進めてまいります。以上でございます。

資料に戻っていただきまして、資料2ページです。次に、具体的取組 2-1-2「地域活動協議会による自律的な地域運営の促進」の取組としまして、地域活動協議会のICT活用支援や活動紹介チラシの配布などを行いました。

引き続き、まちづくりセンターと連携して、地域活動協議会の自立に向けた支援を行うとともに、地域活動協議会の意義や求められる機能について理解促進を進めてまいります。

次に、具体的取組 2-1-3「地域の魅力の共有と発信の取組」としまして、地域が情報を発信することができるポータルサイト「すみのえ情報局」を開設し、周知、投稿支援を行いました。

前回の全体会で「すみのえ情報局の投稿方法について、オンラインマニュアル等を作成してみてはどうか」といったご意見をいただきました。簡易投稿マニュアルを準備していますのでご覧ください。分かりやすい内容になっていると思います。さらに説明動画も作成しましたので、ここで少しご覧いただきたいと思いますので、スクリーンのほうをご覧ください。

【動画放映】

○井平協働まちづくり課長

いかがでしたでしょうか。スムーズに投稿ができるようにということで作成しておりますので、ぜひご活用いただきたいと思います。今後、各種団体等へ周知するなど、実際に投稿してもらえよう支援を行ってまいりたいと思っています。

また、令和4年10月より、一部の地域のふれあい喫茶等でスマホ相談に応じる「スマホちょこっと相談会」を開催しています。今年度からは、青少年指導員さんと連携した開催も行っているところでございます。

では次に、2-2「支え見守り合う地域づくり」の各取組についてご説明いたします

まず、具体的取組2-2-1「安心を提供する福祉施策の推進」の取組としまして、区民の困り事に対してよりの確な支援につなげるよう、職員の「気づき」「感度の向上」を図るため研修を実施してまいりました。

今後、区役所の保健福祉・生活支援分野の担当のみならず、全ての職員が区民の困り事に対してよりの確な支援につなげられるよう、福祉・健康・医療・暮らしの支援などの各種公的制度のほか、地域やNPO等の実施する支援についても情報共有するための研修を実施し、相談対応力の向上に努めてまいります。

また、個別の支援に当たっては、関係機関の情報共有・連携のため総合的な支援の場として、つながる場や生困シェア会議など、積極的に活用してまいります。

最後に、具体的取組2-2-2「地域福祉の充実の取組」としまして、見守りあ

ったかネットサポーター養成講座の開催、地域との会議への I C T の導入、広報紙での啓発に努めてまいりました。

今後、地域福祉に関する知識のスキルアップを図るための研修の開催や、関係機関をはじめとした横のつながり強化のための情報共有の場の設定などを行ってまいりたいと考えております。

報告しました取組につきまして、今年度以降も継続して取り組んでまいりますので、よりよい取組となるよう幅広く皆様のご意見をいただきたいと思います。

特に、この間継続して意見交換いただいております、必要な人に必要な情報を届けるための有効な取組や、地域で I C T を活用した取組を活発にするための仕掛けづくり、また、先ほどご覧いただきました「すみのえ情報局」の簡易投稿マニュアル、投稿支援動画を活用した地域における利用促進方法等について、ご意見をいただければと存じます。

私からの説明は以上でございます。部会長、よろしくお願いいたします。

○長谷部会長

ありがとうございました。

今の事務局の説明を受けて、各取組についての質問や、よりよい取組にするために必要なこと、また事務局からご意見をいただきたいという依頼のあった内容について、ご意見、ご提案をいただければと思います。ご説明いただいたどの取組からでも結構ですので、どうかよろしくお願いいたします。

また、特に必要な人に必要な情報を届けるための有効な取組や、地域で I C T を活用した取組を活発にするための仕掛けづくり、また先ほど動画でありました「すみのえ情報局」簡易投稿マニュアル、投稿支援動画を活用した地域における利用促進方法についてご意見をお聞きしたいとこのことですので、そのあたりについてのご意見もよろしくお願いいたしますと存じます。

まず、何かご意見ありましたら。田貝さん。

○田貝委員

単純にお伺いしたいんですが、「すみのえ情報局」の簡易の動画、すごくいいなと思ったんですけど、チラシを読み取るじゃないですか。もしそのチラシが近くになかったら、ネットですぐ押したらいいとか、何かそんな方法もあるんでしょうか。ちょっと調べられなくて、教えていただきたいんですが。二次元コードがすぐ手元にない場合は。

○吉岡 I C T ・企画担当課長

I C T ・企画担当課長、吉岡でございます。

写真を撮るという機能をクローズアップさせていただいているので、スマホで撮れるデータでしたら、例えば画面をネットで撮ったやつを。

○田貝委員

近くに、これを投稿しようと思う二次元コードのチラシがない場合はどうしたらいいでしょうかという質問です。

○吉岡 I C T ・企画担当課長

そもそも「すみのえ情報局」に行くところですね。

○田貝委員

はい。

○長谷部会長

これを開くのに、二次元コードがなかったらどうするんやということですね。

○田貝委員

そうそう。ネットで調べたら、そこ押したら行けるとか。

○吉岡 I C T ・企画担当課長

大阪市の住之江区のホームページからは、大きな「すみのえ情報局」というボタンがありますので、そこを押していただくと。スマホで見ても「すみのえ情報局」とありますので、そこを押していただくと、トップページに行っていただけます。

○田貝委員

そのページ見たんですけど、よく分からないなと思って。動画だったら、何か手元にチラシがないとできないみたいなふうに思ってしまったんですが。私がね。

○吉岡 I C T ・企画担当課長

入り方、トップページの行き方は、二次元コードを撮っていただいても大丈夫です。

○田貝委員

あと、ホームページのところで押せば。

○吉岡 I C T ・企画担当課長

そうですね、はい。大阪市のホームページの、住之江区のホームページからも行っています。

○伊藤委員

じゃあ、その続きで。今の動画を見させていただいたんですけども、とても分かりやすいんですが、ちょっとナレーションがあったほうがいいのかなくて。画面ごとに、今ここ、これをやります、押します、この赤い輪っかで囲んであるところを押しますとか、日にちを設定できますとか、ちょっと人の声で誘導してくれてもいいのかなと思いました。

それで、もしもナレーションが入るときに、この二次元コード以外にもホームページから投稿ができますとか、一言あってもいいのかなって今思いました。せっかくだらないうちで、有効に活用したいと思います。

○吉岡 I C T ・企画担当課長

I C T 企画・担当課長の吉岡です。

おっしゃっていただいているように、マニュアルのアップグレードといいますか、見直しというのは常々やっていく形になると思いますので、改良してまいりたいと思います。

○長谷部会長

ありがとうございます。

それじゃあ、山田さん、ご意見ありましたら。

○山田委員

すみません、ちょっと頭の中が整理できてないのもあるんですけども、先ほどご説明の中で、必要な人に必要な情報がというようなそういうお話も、この会に参加させてもらって毎回の様に聞いてはおるんですけども、ちょっとその事例とは違うかもしれません。実は先日、私が住んでいる地域で老人の方の孤独死がどうもあったらしくて、その方、ふだんよくいろいろな方とお話しされる方だったそうです。私は存じないんですけども、その方が二、三日、そう言えば様子見ないなというふうに思っていたら、ご自宅のほうで亡くなられていたというふうなことがありました。完全とは言えませんが、地域ではそういったネットワークのほうでいろいろサポートしていることは聞いていましたし、どこにどういう方が住まれているというのも把握されているというふうには聞いていたんですけども、それでもこういう孤独死というのが起こるということは、なかなか完璧に100%に持っていくというのは難しいのかなというふうに、つい先日思ったばかりです。先ほど言った必要な方に必要な情報をとというのも、ITなんかも駆使してもなかなか100%に持っていくのは難しいのかなと思ったときに、やっぱり人と人とのつながりを深めていかないと難しいのかなというのを感じたところでした。

ごめんなさい、意見とか質問とかではないんですけども、そういったところをより活発に持っていくにはどうしたらいいのかなと、本当に地域の中でいろいろと考えていくのが必要だなというのを常々考えて思うだけで、なかなか実行には移せていないんですけども、そういったところをもっと議論というか、意見交換できるように持っていったらいいのかなというふうに感じたところではありました。すみません、質問とかそういうわけじゃないですけども、ちょっとお話ししたかったところでした。

以上です。

○長谷部会長

ありがとうございます。このお題はね、私のところでも何年か前に立て続けにあったんですよね。それは何かと言うと、前日会った人、ご近所の方がお元気だったですよ、市場へも行っ、夕方帰ってきはったと。ところがお一人住まいでね、そうするとね、どんな組織やどんなボランティアさんがおられようが、24時間その方と一緒にいるわけじゃないし、まして夜になった場合に、やっぱりそれぞれのご家庭というのがあって、その一人住まいの方もお一人の家庭、ほんならそこに他人の誰かが一緒に生活するかって、それはなかなかないですよ。

私の地域で助けた人もおるんですよ。丸々1日見てないよってなって、警察を呼んだり消防を呼んだりしたら、トイレから出たところで倒れてて、冬だったんですけど一命を取り留めて、ご子息の方が引き取られたということがあったんですけど、多分これは永遠の課題になってくるんですよ。だから、1人でもそういう方をなくすためには、やっぱり今言われているご近所とか、本当にそういう形しか、それとその方のご親戚なんかが、朝夕に元気かみたいな電話連絡するとか、そういうような状態が、離れていても家族とうまくコミュニケーションとれてたら、そういう方が1人でも少なくできるのかなという。だから、その辺のところ、人間の教育みたいなことも大事なかなと思います。これからもいろいろと皆さんと、その辺のところは深刻な問題として捉えて考えていく必要があるのかなと思います。ありがとうございます。

それでは、藤井さん、よろしくお願いします。

○藤井委員

また話が戻るんですけども、先ほどオンラインマニュアルであった動画なんですけど、これはすごくいいなと思います。

ただ、もし改善される予定があるのでしたら、声もそうなんですけども、例えば画面の中で、i P h o n e の設定の次にアンドロイドだったら、ちょっと i P h o n

e、アンドロイドって分かん人があるので、一画面でi P h o n eかアンドロイドか、ちょっとそこを見せるようにしたほうがいいのかなというのが1つと、それと最後、登録できましたという後に、最後に登録したものを確認しましょうというようなところ、やったけどできてないというケースもあるので、その確認をするというステップを入れてあげたらいいのかなというふうに思いました。

I C Tの取組って非常にいろいろとされているので、だんだん進んでいっているなとすごく感動させていただいているんですけども、あとは情報というのがいかに皆さんに伝わっていくかというのが非常に気になってまして、どうしても、そこへ行けば分かるけど、行かなければ分からへんという実態をどうクリアしていくかなというときに、以前ちょっと話させてもらったんですけど、ほかのサイトでもあるんですけど、メールアドレスさえ登録しとけば、その人に対していつも最新情報がメールで送られてくるというシステムがあるので、そういったことをされたらいいのかなというのが1つ気になりました。メールを作成するのは大変だと思うんですけども、日々いろいろな情報が作成されていると思うので、そこだけちょっと割いていただいたら、登録してもらえればその人たちに確実にメールとして届いていきますし、そのメールが届けば、こんなできたんや、こんなが見れるようになったんだというのが確実に伝わるという思いがありますので、違うサイトなんですけど、それを非常に重宝している部分があって、ぜひとも、大変だと思うんですけど、定期的、週に1回とか月2回とか、決められてするのもよいのではないかなというふうに思った次第です。その登録が皆さんに広がっていけば、おのずとその人たちに情報が伝わる仕組みができるという思いをしております。

それが1つと、あともう一つ、私が無知で申し訳なかったんですが、地域活動協議会、イコール町内会につながるというところでは、町内会の名前が地域活動協議会というのは先般も説明いただいたんですけど、知らない人たちにとっては町内会という表現しか知らないという中で、いろいろな区報とか見るんですけど、町内会の活動

情報というのが基本的には地域活動協議会という形で表現されているんですけども、知らない人にとっては全然違う世界のものと思われてしまうところがあります。いろいろな区報、大阪府なんかも拝見させていただいている中で、ちょっと今日は持ってこれなかったんですけど、どこかの区で、地域活動協議会イコール町内会ですよというようなことをちゃんと補足で書いてくれている区報もあったりしたので、やっぱり同じような思いをしている人がいるのかなと思ひまして、ちょっと一言、何かそういう添え書きでもしていただいたらより伝わりやすいんじゃないかなというのと、関心を持っていただきやすいかなというふうに思ひまして、その辺のご検討もまたお願いしたいなと思ひた次第です。以上です。

○長谷部会長

ありがとうございます。今のご意見、まず、すみのえ情報局の関係ですよ。私が思うのは、こういうのをつくる人ってね、区の人だと思うんですけど、こういうプログラムをつくるベテランの方が携わってやられていると思うんですよ。そうすると、私もそうなんですけど、パソコンやとかこういうものにそんなに精通しているわけではないですよ。だから、分からない人が分かりやすいようなプログラムにより近づけてほしい。初心者が扱えるようなものの設定をして、そのために皆さんからいろいろな意見を出していただいて、こちらのプロの方がその辺を改良していくというようなことが大事だろうなと思ひますね。

その後は、私あまり精通してないんで、また役所のほうといろいろ検討していただいて、前からいろいろな問題がいっぱい山積みになつてくると思うんですけど、たくさんあり過ぎるから1つずつ解決していくような方向で検討していただいて、どんどんまた貴重なご意見をいただけたら1つの手助けになるかなと思ひますので、よろしくお願ひします。ありがとうございます。

○吉岡 I C T ・企画担当課長

よろしいですか、I C T企画・担当課長の吉岡です。

委員ご指摘のとおり、今のマニュアルは最小限の手順で投稿できるものということでやっておりますので、もう今後あれで終わりというわけではなく、見直していくことも当然あると思いますので、常に見直してアップグレードしていきたいと思っております。

手順についても、投稿したものをどう確認するかという手順があるらしいんですけど、最小限の手順しか掲載していませんので、今のマニュアルには載っておりません。またその辺、どういうふうなものにしていくかというのは考えてまいりたいと思っております。

○長谷部会長

ありがとうございます。

○井平協働まちづくり課長

地域活動協議会と町会の違いですが、正式にはイコールじゃなくて、地域活動協議会の中に入っている団体の1つが町会、地域振興会であって、いろいろな団体が一緒になって地域活動協議会を形成して活動していこうってなっていますので。実際に区民の方からすれば、今いただいたような意見があるかと思います。そのあたりどういうふうに分かるように発信していったらいいのか、ご意見も踏まえましていろいろ考えていきたいと思えます。また引き続きご意見等をよろしくお願いいたします。

○長谷部会長

ありがとうございます。

それでは、永松さん。

○永松委員

私は地域からの推薦ですけれども、町会のない地域に住んでいまして、割と町会のないところがたくさん私の周りにはあるんですけれども、いろいろな情報が全然分からない。私は地域でいろいろな役をさせてもらっているんで、ちょこちょここと分かっているんですけれど、町会に入っていない方って、ここ3年間コロナでほとんど動き

もなくて。だから余計に分からない部分が私自身もいっぱい出てきたりして、私も役をしながらいろいろなとこに出てたから分かるところもあったんですけど、町会に入っていないたくさんの周りの方たちは、もっともっといろいろなことを分からずにおられるんだろうなと思って。だからそんな人たちももっと分かっていけるような、いろいろしてくださっているのは分かっているんですけども、もっと進んでいけばいいなと思います。

○長谷部会長

課長、何かありますか。

○井平協働まちづくり課長

なかなか難しい。区役所のいろいろな取組につきましては、広報紙とかホームページで発信はさせていただいているんですけども、それが全て伝わっているかと言ったらそうではなくて、やはり町会の回覧というのは各家庭に届きますので、大きな1つの広報媒体だと思っています。区役所も町会に必要な情報については回覧等の発信をお願いしているんですけど、町会に加入されてないとそれは届きませんので、いかに町会に入っていていただくかということが大事ななと思ってしまして、区役所としても、町会に入ったら防災の話とかいろいろな情報が届くというようなチラシも新しく作りまして、イベントとかいろいろな場で配らせていただいて、アピールはするようにしているんです。区役所にも置いてありますし、必要であればお渡しできますので、いろいろなところで活用していただいて、少しでも町会加入者が増えるようになっていければいいかなと思います。

永松さんのところも町会がないということなので、その地域の中でチラシをポスティングしてもらったり、中から加入しようやってというような声が出てくれば、また動いていくかなと思いますので、そういったことを一緒に取り組んでいければいいかなと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。

○永松委員

全く働きかけがないので、たくさんのマンションがほとんど入ってないところなのでね。

○井平協働まちづくり課長

町会というのは任意で皆さんが組織されているので、区役所で強制的につくりなさいとか、そこまでは言うのは難しい。できるだけメリットを伝えながらという形になるので、地域に住んでおられる皆さんが自主的にやっていこうってならないと難しい。何かできる方法があるのかどうかは一緒に考えさせてもらうことはできるかなと思いますので、何とかうまいこといけるようにまたお話しできたらと思います。

○永松委員

お願いします。

○井平協働まちづくり課長

はい、よろしくお願いします。

○長谷部会長

ありがとうございました。町会ってね、まあ言えば任意団体ですよ。だから、永松さんのところの地区の中で、例えば永松さんが町会長になって、極端な例ですよ、誰かリーダーシップとる人が出てこないと絶対できないです。私も町会がないというのは今日初めて、申し訳ないですけど知ったんですよ。今おっしゃったように、いろいろなサービスは地活協じゃないんですよ、やっぱり町会なんですよ。区とか役所関係は、地活協そのものにはいろいろな力を入れて、いろいろな団体との折衝のこともやられているけども、単位の町会とか連合町会というのは、その下に入っているわけですよ。だから、基本的にその地域の中で、何丁目の何町会とかいう形のものを、やっぱりそこに住んでおられる方が、これではだめだということで、まず町会というものをつくるということが一番大前提になってきますよね。

それは非常に難しいことで、例えば、何もないところで私が町会長しますって言ったら、おまえみたいなやつはあかんがなって言うような人がおるかも分からない。

ただ、やっぱり町会がないと、区とか市とか国とかの住民に対するサービス、それとかもう一つ、災害時の救護の問題とか、ものすごいいろいろなことが町会にかかっているわけですよ。特に我々、住之江って言ったら、大和川を持っていて、あの大和川の堤防なんて土も大分劣化してきとる中で、大きな地震が来たりとか津波が来たりとか、上流の奈良県で豪雨になるようなことになると、非常に危険な状態になる。そのときに連絡事項とかそういうことが、まとまった組織がないと伝わらないし、またどこに逃げたらええんやとか、そういうような日頃の勉強会もできない。だから、なかなか難しい問題だと思うんですけど、やっぱり誰かが中心になって、仲間三、四人でも集めて町会をつくれればいいんです。これは別に法律で守られているわけでも何でもないので、つくって、それに対して、連合があれば連合のほうに加入して、いろいろな区の折衝とか、いろいろなことができると思うんですよ。だから、永松さんがいろいろなことをやられてて、私が見たら適任かなと思うんですけど、それは地元のほうでいろいろ相談されて、やっぱりつくることを前提に考えたほうがいいです。絶対にないとだめですわ。私が言うべきことじゃなかったんかも分からないですけど、自分もいろいろなとこに携わっている以上、そういうようなところを見るとほっとけないような気がして、つい。

○永松委員

マンションなので、理事会というのがあるから、それでええかみたいな感じで済んでいるんですけど、さっきおっしゃったみたいに回覧とかも全然ないし、地域のいろいろな情報が全然、何かされていてもわからない。

○吉田副区長

マンションの管理組合自体が1つの町会として登録していただいて、連合町会に加入しているところもある。マンション名イコール町会名になっているマンションもありますので、管理組合の中で、皆さんでこのまま町会に入りませんかみたいな形でやっていただくのも1つの方法かなとは思いますが。一例として申し上げただけ

なんで、必ずしもそうしないといけないということでもないですし、そういった形でやっているマンションもございます、住之江の中でも。

○長谷部会長

1つの町会の中に、そのマンションの理事長が連合の会合なんかにも出られているというのは、現実にありますからね。

○永松委員

うちの地域も2つのマンションが町会に入っておられるんですけど、その周りの4つのマンションが結構人数多いのに入ってなくて、みんなで声をかけて入ればいいと思うんですけど。

○吉田副区長

そうですね、これだけは皆さんで声をかけていただいて。できるだけ行政としても、町会に入るメリット、もしくは入らないデメリットというところをいかにお伝えできるか、それによって加入していただくような意識が芽生えてくるのかなという思いはあるんですけど、じゃあ実際どういうふうにすればというのが非常に難しいなと思いつつ、この間ちょっと悩んでおりました。そういった部分でもこういう区政会議なりで、直接そういう部分で関わっておられるので、もうちょっとこういう形の発信の仕方がよいとか、こういうのがあれば周りの人も理解してくれるんじゃないかなというようなところを教えていただきたい。加入促進に向けて、今はチラシ等を作って、できるだけ町会ではこういう活動をしていて、活動がメリットありますよとか、防災の関係とかを言っているんですけど、それ以外にもこういうような発信をすれば町会に入ってみようかなと思われる方が増えるかなっていうようなご意見とか、そういったものをご提案いただけたら非常にありがたいと思っております。すぐにではないんですけど、思いつかれたときは、こういう会議の場以外でもお願いしたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

○長谷部会長

ありがとうございます。

藤井さん、どうぞ。

○藤井委員

町会の取組って本当に大変だなと思っておりまして、4月2日に大和川でイベントを開催させてもらったんですけども、やっぱりこういうイベントをもっともっと広げることで、もうちょっと町内の活動につながっていったらなという思いをしまして、グループの中でそういう提案もさせてもらっているんですけど、今回第1回で、2025年万博まで続けて3回か4回やろうというような話をしていますので、その中で徐々に町内活動、そこを町会の動きとか、いろいろやっていったらなというふうに感じてまして、次回やるときにはそういう提案もさせていただきたいと思います。

チラシ配布についても、マンションに1件ずつ配布させてもらったんですけど、やっぱりいろいろな事情があって大変だなという、それと空いているところもだんだん増えているような感じがしましたので、そこをどないしていくのかなとか、いろいろな課題もあるんだなというふうに感じましたので、それをやることで私も勉強になりましたので、町内活動というのは本当に大変だなということを実感しました。お疲れさまでございます。

○長谷部会長

ありがとうございます。まちづくりって難しいですね。区役所に協働まちづくり課があるから、またいろいろ相談されて、やっぱり組織していくのが一番大事かなと。

私、ちょっと提案させてもらってもいいですか。すみのえ情報局は、一応いろいろなイベントとか、そういうものの広報をする場になっていますよね。ここにね、これはちょっと幼稚過ぎるのかも分からないんですけど、区民の中で、こんなうれしいことあったんやとか、こんなすばらしいことあったんやとかというのを、イニシャルでも何でも、個人情報がありますので、いろいろ投稿して、そういう枠とかつくれな

いんですかね。素晴らしいことを自分が体験した、こういうことを誰かに知ってほしいけど言う場がないわっていうのがあると思うので、こういうイベントとかそういうの、型にはまったものではなくて、日々の生活の中で受ける区民の方の楽しかったこととか、こんなことに腹立ったよとかというものを匿名性で出せるような、そういう粹って。

○田貝委員

いいですか。今会長さん言ってらした、住之江区役所さん、LINEで発信してくださいませんか。あれすごい読みやすくいいなと思って、あのLINEの中でグループをつくって、そういうのをつくりたいとかってというのは難しいんですかね。ちょっと素人なんでよく分からないんですけど、自分たちがLINEの中で分けられたりするじゃないですか、そういうところに。LINEで住之江区役所から情報を一方的にいただくけど、ではなくて、その中で、それをとっている人の中で、聞いて、私今日こんないいことあったとか、そういうサークルみたいな感じに分けられたりは。

○吉田副区長

LINEになると、今登録されているほかの方というのが、ちょっと見れないですね。逆にフェイスブックになると、登録されている方、どんな方がされているかって分かるので、そこの中のやりとりというか、つながるのはまだ可能かなと思うんですけど、LINEの場合は逆に言うと、住之江区のほうにどなたが登録しているかっていうのを情報としてお渡しできないので、ただフェイスブックの場合、フォロー中の方、もちろん本人さんが公開にしている方になりますけれども、公開でしている方はフォロー中の方というのは一覧に出るんで、そこで個別につながりにいくっていうところは、まだ可能。

今日、資料を最後に入れてますけれども、住之江区としてSNSですね、実はすみのえ情報局をはじめツイッター、フェイスブック、ユーチューブもチャンネルを持

ってまして、LINEと、広報さんかも紙ベースでは配ってますけども、ホームページ上でデータ化したものも置いてますので、これは過去の分も見れるようになっております。それから、もともと根本的なところで住之江区のホームページでの情報発信という形で、これだけいろいろやっているんですけど、なかなかそれでも伝わりにくいところもございまして、こういったことをやっているということも周知しながらという形で進めさせていただいているところです。

○吉岡 ICT・企画担当課長

ICT、吉岡です。

会長がおっしゃっていた、自分の思ったことを投稿できないかというところなんですけど、情報局の今の狙っているところよりは、どっちかというとフェイスブックとかそっち、今おっしゃっているようなところというのは、自分が今日こんなところ行ったよみたいなことを投稿されているのは、フェイスブックとかインスタグラムとか、今のSNSで言ったらそっちのほうの情報発信のツールとして見合っている、今おっしゃっているような用途としては見合っているのかなとは思いますがね。

○長谷部会長

情報局には合わない。

○吉岡課長

今そっちにもし行っちゃうと、情報局とフェイスブックと何が違うのってなっちゃうような気がするんです。

○長谷部会長

例えば、何かうれしいことがあった、道路を歩いていてこういうことがあったとかいうのをメールで投稿してもらって、この情報をこれに載せるか載せへんかという選別をして、何でもかんでも載せるっていうんじゃないくて、東京Jタウンネットというのを東京都のほうでやっていて、それとこれとはまた全然違うんですけど、この中に選別して、こんなん出したらあかんわとかありますやん、そういうのやったら何でも

好き勝手に書いてくる人がおるから、その辺のところを選別する、書いてきた文章に関しても一応受け側でアレンジして載せるとか、これは別に載せてくれと言うとるんじゃないくて、そんなんはできないんですかというのを。

○吉田副区長

今部会長おっしゃったように、情報、やっぱりオープンになりますので、やっぱり不適切な情報ということも考えられます。そのためにすみのえ情報局については、団体さんとか、事前に登録して、その登録された団体でしか投稿できない。登録される団体につきましては、こういう情報は困りますとかルールを決めて、それを同意していただいて、それをちゃんと守っていただけるという団体等で投稿していただくような仕組みになっていまして、おっしゃるようにこっちで1回チェックしてということができればいいんですけど、人員的な部分とか、そういった部分を含めて今難しいので、登録団体さんのほうで、こういった団体やと情報として発信していただく団体に、ちょっと言い方に語弊があると思いますが、ふさわしい団体さんというところにしておりますので、今の段階で個人の方が自由に載せるというところについて、そこまでチェック機能が働かないかなというところが課題としてございます。というところですよ、すみません。

○田貝委員

常日頃からボランティア活動に興味をもっておりますし、若い子、小さい子、学生とかでも興味を持ってもらったら、本当に住みやすいまちになるんじゃないかなと思っておりましてところ、あったかネットサポーター養成講座を学校向けに6回されていて、562人の学生ですかね、参加されていますよね。これが継続して何か変化があったのかな、どんな収穫があったのかなというのと、あと、サキシマm e e t s、多分区役所からも参加されているんですけど、あそこに来ている水都国際高校は、地域で活動するので、何かさせてくださいという動きもある。教育委員会に働きかけたらいいのか、どこに働きかけたらいいのかなとか、そういう学生のボランティアの気

持ちとか、ここら辺の次がどうしていったらいいのか教えていただけたらと思います。

○井平協働まちづくり課長

サポーターの養成講座につきましては、今年度初めて学校向けにもやりまして、そこから先は、これからいろいろな状況を踏まえて、どのようにつながっていけるのかとかも含めて検討していきたいとは思っていますので、これからということで、またいろいろご意見をいただきながらとは思っています。

水都国際のほうは、すごくボランティアに力を入れておられて、実際地域の「海の町」とは、いろいろ地域と一緒にコラボして、イベントで一緒に参加したりとか、そういったことも進んでいっています。これから徐々に南港全体に活動の場を広げていけるように、社協もボランティアの関係で学校へ声かけたりしていることもあって、地域とつなげていけるような形が進めていければなと思っていますので、引き続き情報共有させていただきながら取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○長谷部会長

ありがとうございます。一応、一通り皆さんにご意見をお話しいただいたんですけども、最後にもう一人、どなたか。どうぞ。

○伊藤委員

区民の困り事に対してよりの確な支援につなげるように、職員の気づきとか感度の向上というのがすごい気になるところで、私も仕事柄、小学生とかに関わっていると、困り事がある小学生というのは大体だんまりをしてしまって、何を困っているのかこっちが聞き出そうとすると、こっちのほうで饒舌になってしまって、結局小学生は黙ったまま。うまい先生になると、すごい間をとって、子供たちがぼつぼつしゃべり出すみたいな感じで、やっぱり聞き上手な人がしゃべり上手みたいな感じがすごくよく分かるので、この事実確認シートとか、ぜひとも私も見てみたいと思うようなところ。私ごとで申し訳ないんですが、最近住之江区の中で引っ越しをしまして、家

の中の必要ないもの、粗大ごみが出てしまったんですが、もう電話する時間が過ぎていまして、ネットで簡単に予約できますということで、やったんですが、まずどこから入っていいのかがなかなか分からない。もう粗大ごみ捨てさせてくれないのかなって、ちょっとブルーな気持ちになってしまうぐらいだったんですよ。結局、いじっているうちにそこにたどり着いたんですけども、結局申込みボタンもまた分かりづらい。申込みボタンのところに開始日時とか小さい文字が書いてあるので、それがボタンだとはちょっと分かりづらい。そのボタンを押すと、いつにしますかとか、どれぐらいのものですかっていうふうに、もうがくと簡単になるんですけども、その申込みボタンにたどり着くまでが大変なので、区民としては本当に困ってしまったので、こういう投稿方法とか簡単になっているご時世、大阪市の粗大ごみの受付のホームページ画面、もうちょっと分かりやすくないのかなって真摯に思いました。すみませんが、よろしくお願いします。

○長谷部会長

今のお話に対して、よろしく。

○井平協働まちづくり課長

全体に関することやと思うんですけど、それぞれ初めて使う場合については、当然分かりにくいこともあると思います。粗大ごみに関しては、僕もあまり使ったことがないので、その分については環境局が担当ですので、今のご意見をお伝えしつつ、できるだけ改善できるようになればいいかなとは思っていますので、情報共有はしていきたいと思います。

○伊藤委員

頻繁に使うものだったらやり方も覚えるんですけども、たまにしか粗大ごみって出ないので、そうするとまた真っさらな自分になって、またどこだったっけってなってしまうので、できたら分かりやすくよろしくお願いします。

○井平協働まちづくり課長

そこは情報共有していきます。今のご意見につきましては、市全体、区のホームページも含めてというご意見やと思いますので、我々も意識をしながら、できるだけ初めて使われる方も分かりやすいようにしていきたいと思いますので、引き続きまた何かあれば、ご意見いただいたらありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

○長谷部会長

ありがとうございます。

それでは、一応予定をしておりましたお時間となりました。貴重なご意見をいただきました。実際に皆さんから発言していただいて、やっぱり行政側のほうも、こんなこと気づいてなかったなということが出ることがこの会議の意義があるんじゃないかなと。それによって行政のほうとして、それを加味しながらいろいろな施策をとっていただけたら最高じゃないかなと思いますので、これからも忌憚のない意見をどんどん申し述べていただいて、我々の住んでいる住之江区が、全ての人が自分らしく暮らせるまちづくりということと、やっぱり住んで楽しいまちになるようなことに我々として1つでも役に立てれば、この部会の1つの意義かなと思いますので、本当に今日は長時間、1時間ですけど、ありがとうございました。

今日の会議におきましては、後ほど全て文章化していただいて、6月14日の水曜日に開催されます本会議のほうで発表させていただきます。

○田貝委員

すみません、1個だけ。みんなが先生っていうのはすごくいい取組だと思っていて、こんな特技があるのにとという方で、もう何もすることがなくてデイサービス来てはる人もいます。すごくいい取組だと思ったので、そこであるエピソードとか、どんなふうにそれを広報しているのかとか、私が知っているこの人すごい・・・、この人英語しゃべれるっていう知り合いがいっぱいいるんですけど、それをどうやってつなげたらいいのかなというところを教えていただけたら、すみません、ありがたいです。せっかくの取組なので、もっとみんなが知れたらいいなと思って。

○松本保健福祉課長

保健福祉課長の松本です。

担当は教育担当になりますが、皆さん、みんなが先生という事業をご存じでしょうか。区役所が間に入って、社会福祉施設とか病院などに学校の生徒や児童を受け入れていただいて、そこでボランティアというか、病院のお年寄りの相手をしたりとか、清掃活動をしたり、そういうことでボランティア意識を持ってもらうような、そんなマッチングをしています。それを毎年募集しています。今日は資料を持ってきていませんが。受け入れていただく施設もたくさんあって、学校には周知していますが、あくまで学校が参加するかというところの難しさがあります。

ただ、今ご提案いただいているエピソードなど広報の仕方というのは、教育担当には、こういうご意見があったということはお伝えしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○田貝委員

それは体験学習みたいな感じで施設に来るわけなんですかね。

○松本保健福祉課長

そうですね。

○田貝委員

そうじゃなくて、私がイメージしているのは、みんなが先生なので、そこに出向いてとか、どこかのサークルで、私こんな特技あるから教えてあげるみたいな感じなんですけど、違うんですね。

○松本保健福祉課長

今教育担当がやっているのは、施設が受け入れるというものです。

○田貝委員

分かりました。

○松本保健福祉課長

その辺もできるのかどうかも含めて、ご意見としては伝えたいと思います。

○長谷部会長

本当に1時間にわたって貴重なご意見、いろいろ提案等がありました。それについてまた事務局のほうで、今日のご意見等、議論内容を整理していただいて、全体会のほうで報告できるような資料をよろしく願いいたします。

一応、今日予定しておりました議題、以上でございます。どうも1時間にわたって貴重なご意見、いろいろとありがとうございました。次回、また貴重なご意見を一つよろしく願いいたします。

皆さん、今日はお疲れさまでございます。ありがとうございました。

○井平協働まちづくり課長

長谷部会長、どうもありがとうございました。委員の皆様におかれましては、本日、長時間にわたりまして、活発な意見交換をいただきありがとうございました。

いただいた意見につきましては、しっかりと受け止めさせていただいて、今後どうしていくかを含めて考えていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

本日の議論を踏まえまして、全体会で報告する資料の作成につきましては、事務局と部会長に一任いただいてもよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、6月14日に全体会がございますので、よろしくお願いいたします。

本日の区政会議、部会のほうを閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

以下余白